

保護者意見

<学 習>

○サポートタイムがありがたいです。

→今後も継続してまいります。

・細やかな指導に感謝。日記の宿題を増やしてほしいです。

→各担任は、お子さんの負担が過重にならない程度に配慮して宿題を出しております。中には「塾などに通っていて、宿題に手が回らない。減らしてほしい」などというご意見をいただくこともあります。また、宿題が多いとその処理に時間がかかり、担任がお子さんと触れ合う時間が減ってしまうということもあります。以上の理由で宿題は簡単には増やせないのです。もし、お子さんの宿題が足りないようでしたらそれぞれのご家庭でお子さんに合ったドリルや自由作文などを与えることもお子さんの力を伸ばす方法ではないかと考えます。

・宿題が各クラス（学年）によって違いがあるので統一してほしいです。

→宿題は、それぞれの学級（学年）の実態に応じて、「今、身に付けて欲しい力」を付けるために担任が内容を考えてドリルを選んだり、特に内容を絞って与えたりしています。現在も各学年間の宿題の内容について適宜情報交換し合いながら取り組んでおりますが、今回のご指摘を受けて再度検討するようにいたします。

・勉強や宿題について、やらされていると思っている所があります。家庭でも話していますが、やる事の意味を理解できるよう声を掛けていただきたいと思います。

→「朝会」で「学ぶことの意義」について話したこともありますが、「なぜ学ぶのか、学ばなければならないのか」という問題は大人になってもついて回る大切な問題だと思います。以前、学校だよりで、「勉強しなさい…は、逆効果？」という題で書かせていただきましたが、お子さんが「何をやりたい！」と強く心にもつことが「勉強の意欲」になると思います。決して「将来役に立つから」という漠然とした言葉では子供は納得しません。以前、学校だよりで私の娘が助産師になるまでの話を書きました。私の娘は全然勉強ができなくて（しなくて）小学校での成績は悲惨なものでした。でも、私は彼女に一度も「勉強しなさい」と言ったことはありませんでした。しかし、「助産師になりたい」と心に強く思ってから、それこそ狂ったように夜中まで勉強しはじめ、最終的に自分の夢をかなえました。このことは学ぶ目的がはっきりすれば自ずと勉強に向かうということを表す一例だと思います。学校でも機会を捉えて「学ぶ意義」について指導したいと思っておりますが、是非、ご家庭でもお子さんの興味・関心のあるものへの「好奇心」を大きく育て「知ることは楽しい」ということを実感させていただければと思います。この問題はなかなか難しいのでお時間がありましたら是非校長とお話ししに学校においでいただきお互いに知恵を出し合いたいと思います。ご来校を楽しみにしております。

・オンライン授業を始められるようになったら嬉しいです。

→タブレットが全員に配付されました。ご家庭にWI-FI 環境が無いお子さんにもWI-FI ルータも貸し出されオンライン授業ができる環境が整います。ただ、オンライン授業は感染が深刻な場合の非常手段という位置付けで、「学び合う」「思いやりを育む」ということはやはり一斉授業でなければ難しいと言われております。今後、臨時休業中のオンライン授業の実施を想定し、何度か試験的にオンライン授業的なことを実施していきたいと考えますし、タブレットによる学習課題の配付・提出なども導入に向けて検討していきたいと考えております。

・子どもたち1人1人の個性を生かせるよう自信を付けられるようクラスの中で、1人ずつを皆で長所を言っていくゲームなどをやってみたら良いのでは？と思いました。クラスのお友達の良い所をほめたり、見付けてあげたり、また、ほめてもらえた子も、自分が欠点と思っていた事が、実は他の子から見たら長所だったりして、自分を発見できるし、いじめの減少にもつながると思いました。もうすでに実行されているのかも知れませんが…。

→これまでも「集団作り」「学級作り」のために「お互いのよさを実感し合う」「協力の大切さを味わう」などの目的で教科や学校行事、児童会活動、学級活動などで様々な活動を行っております。今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症への対応で、授業時間数の削減・精選によりこのような活動は減っておりますが、これまで各学級では「構成的グループエンカウンター」「みやぎアドベンチャープログラム」などお互いのよさを見つめたり協力し合ったりすることの大切さを実感させるゲームを行ってきております。また、5年生で行う花山青少年自然の家で行う2泊3日の野外活動はほとんどの時間が「一人はみんなのために、みんなは一人のために」というご提案の内容を全面的に取り入れた学校行事になっております。もちろん、今後もこのような活動を積極的に取り入れてまいります。

・子どもたちそれぞれの目標や夢などを書き出して、図書室の本でどんな事を学んで行けば実現できるのかを調べたり、現状の人気の職業についてのビデオ教材などを見せたりして頂けたら、子どもたちも喜ぶと思いました。また、目標や夢について、大人になった時の姿、夢を叶えた時のことを想像して絵に描くなどして、イメージを具体的に表現するようになると子どもたちの意識が向上すると思います。

→夢や目標をもつことは大切です。本校でも「志をもつ」ということで「どんな生き方をしたいのか」ということを「朝会」で子供たちに考えさせています。ただ、人気の職業に憧れることは悪いことではありませんが、人気の職業はそれだけなりたい子供が多いので、自分のよさ・強みを大切に考えさせたいと思います。先日、朝会で漫画家「手塚治虫」の生き方を取り上げ「夢は二つ以上もちなさい」という彼の言葉を子供たちに紹介しました。手塚治虫は「医者」と「漫画家」の二つの夢をもっていたのだそうです。どちらも成功するには大変な職業ですが、手塚さんは「医者になりたいけれど、なれなかったら漫画家になろう」と決めていて、医者の夢が叶わなくなりそうになったときに漫画家を目指したのだそうです。「夢は二つ以上持ってください。僕も漫画家と医者という二つの夢を持っていました。夢が一つしかないとその夢が破れた時挫折してしまう。でも二つ以上夢があればそうはならないでしょ」と。子供たちに聞くと男子は「プロ野球選手」「サッカー選手」「ゲームのプログラマー」「E-スポーツ（ゲーム）の選手」、女子は「アイドル」「漫画家」などが上位に来ます。もちろん「公務員」「先生」などもありますが、大切なことは「単なる憧れ」「楽で儲かる」などの理由ではなく、「生涯を通して取り組める」「自分の強み・性格が生かせる」という視点で将来の仕事を考えることが大切かと思えます。更に、昨年の朝会では「10年後なくなる仕事」というテーマで「AIによって人の仕事がどんどん機械に取って代わられている」ことを話しました。世の中の動きをしっかりと見ていかないといざ大人になったとき「自分が目指していた職業が消滅していた」ということになりかねません。実際、スーパーのレジの半分は自動化され、都会の大手銀行の窓口の人もどんどん減らされています。自動運転によってタクシーやバス、トラックの運転手も近い将来消えると言われていています。ご家庭でもニュースや新聞でお子さんの将来に関わる話題について親子で話し合っただけであればと思います。世の中はすごいスピードで動き、変化しています。世の中の変化に対応できる強さも身に付けていかなければならないと考えています。

・「どうして～」「どうしたら～」などを自分の言葉で話せるような取組をしてほしいです。

→大切なお指摘で、全くとって同感です。まさに今年度から「探究的な学び」を校内研究で推進し、「なぜ」「どのようにしたら解決できると思うか」ということを研究しているところです。私（校長）は、NHKの「チコちゃんに叱られる」という番組を毎回視聴し、「なぜ？」と深く考えることが「学習」を深める上で非常に重要であると認識し、これまでも職員・児童に「なぜ？」を追究するように指導しております。そしてご指摘の通り「自分ごと」として自分の考えを堂々と話せる児童に育てていきたいと考えております。

・サポートタイムでできなかったことを、そのままにしないでほしいです。それぞれ苦手な所は、ちがうので、いつでも克服できるようなやり方はないでしょうか。

→ご指摘を真摯に受け止めます。分からないところは分かるまで指導しているつもりなのですが、不十分なところがございましたらいつでも担任にお伝えください。どうしても多くのお子さんを限られた教員で指導しているので、時折見落としがあるかも知れません。今後、そのようなことが少しでも減るように努力致しますが、理解が十分で無い場合はお知らせください。ただ、サポートタイムというのは既に授業で習ったことで理解が十分でない場合を想定して行っております。ですから、児童には以前に習ったことをしっかり家で学習して忘れないようにし、できるだけ授業に集中して真剣に取り組む、授業中の学び残しが無いようにすることが大切です。そのためにも保護者の皆様には、家庭学習にしっかり取り組ませていただくことをお願いすると共に、学校での学習の様子を聞いてお子さんの取組についてお励ましをいただければと思います。

<生活>

○学校の先生方はみなさん話しやすく、やさしく、おもしろいと子供たちがいつも家で話してくれます。校長先生は子供たちの名前も覚えてくれていて、担任の先生方もお友達とのトラブルがあったときもしっかりと話を聞いていただき、ありがたく思っています。

→ありがたいお言葉、大変恐縮です。職員には「朝起きたら、早く行きたくてうずうずするような学校にしよう！」といつも声がけしております。大人にとっては些細な問題に見えても、子供にとっては重大な問題であることも少なくないので、いつも「子供の目線に立って」子供たちに寄り添う指導を今後も心がけてまいります。

○何か不安な事があった時、担任の先生に相談にのっていただき助かっております。

→ありがたいお言葉、大変恐縮です。大人にとっては些細な問題に見えても、子供にとっては重大な問題であることも少なくないので、いつも「子供の目線に立って」子供たちに寄り添う指導を今後も心がけてまいります。

○担任の先生と毎日連絡ノートで確認したり、登校時に伝えたりすることができるので、引き続きお願いします。

→連絡ノートのご活用ありがとうございます。今後も継続してまいります。

○バス通学になり、運動不足を心配したが、休み時間に遊んでいるようで安心した。

→下校のバスの発車時刻設定については友達とのふれ合いや運動する時間を確保できるように考えて設定しております。多くのお子さんは宿題の一部も行うなどバスの待ち時間を有効に活用しており

ます。

- ・牧沢住宅経由の登下校バスがほしいです。

→牧沢住宅までの登下校はかなりの距離があるということ認識しております。その事で何度か市議会でも取り上げられておりますが、通学バスの適用は市教委では基本的に「統合によって閉校になる学校の学区から通う児童生徒」に限られているようです。

- ・挨拶が出来る子と出来ない子がいるように感じます。

→「挨拶の大切さ」については学校でも校長講話や担任による学級での指導でも何度も行っておりますが、学校の指導だけでは限界を感じます。やはり、家庭でのしつけ・教育が重要だと思います。挨拶ができるお子さんのご家庭は家族みんなが挨拶し合っているのだと思います。私もほぼ毎朝校門前の横断歩道のところに立って子供や車で送られる保護者・ご家族の皆さんにお辞儀をしているのですが、ほとんどの保護者・ご家族の方はお辞儀を返してくださるものの、ごく一部の方はそのまま通り過ぎます。大人でさえも挨拶をしない人がいるという現状を改善したいとは思いますが、個人の意識の問題でするので大変難しいと思います。

- ・外トイレを直してほしいです。

→市教委には毎年ずっと改善要望を出しております。

<保健・安全>

- ・食生活の指導もお願いしたいです。担任の先生には一生懸命対応していただいているので今後よろしくお願いします。

→食育という言葉がありますが、学校では栄養に関する指導に加え「食文化」などについての指導も行っております。好き嫌いの多いお子さんの様子を聞くと、「家で食卓に出たことが無いので食べたことが無い→食べたくない」という声が聞かれます。いざ食べてみると「おいしい」と感じる人が多いので、どうぞご家庭でも献立表の食材について話題にし、ご家庭であまり食べる機会の無い食材にも慣れさせていただければと思います。

- ・子供達が、思いきり安全に遊べる様な校庭作りをして欲しいと思います。

→例えばどのようなことでしょうか？一緒に考えたいと思いますので直接お電話をいただければと思います。

- ・地区の防災訓練 30分～1時間なのに1日代休は疑問に感じます。月曜1時間の短縮授業ではだめなのでしょうか。

→このことは職員間でも話題になりました。本来は自治会の行事なので授業としては扱わない方がよいのではという考えもあります（つまり、学校では通常の日曜日の扱い）。しかし、松岩地区自治会連合会から職員の出勤を要請されていることから労働基準法に則り職員の勤務日扱いとしなければなりません。防災訓練が終わったら登校して午後の授業も行ってから下校するという事も検討しましたが、地区ごとに訓練場所も終了時刻も異なるので難しいと考えます。他校では授業日扱いをしない（職員の出勤も行わない）という学校が多いので、松岩地区自治会連合会とも協議して来年度の防災訓練の扱いを考えてまいります。

- ・防災グッズを各自準備し（水や乾パンなどを袋等に入れて）学校においておくのはどうですか。

→松岩小学校は避難所に指定されており、市において食料や飲料水が備蓄されていますので、児童が各自で水や乾パンなどを保管するのは衛生上問題があり行いません。また、市に問い合わせたところ、「各家庭において災害時に避難する際は携行品として食料や着替え・飲料水等を持ち出しすることが基本となっております。市において備蓄している食糧等はどうしても持ち出しできなかった方のためとしておりますので、御理解と御協力をお願いします」とのことでした。

<学校行事>

<行事が実施できたことについて>…4点まとめて

○規模を縮小しても行事を行ってもらいたいあります。

○コロナの中、様々な行事を行ってもらいたいあります。

○今年はコロナのため、今までの生活とは違いいろいろな制限がある中での学校生活でした。でも、先生達の努力のおかげで楽しい学校生活を送らせていただきました。感謝です。子供達もがんばりました。来年はもっと楽しい環境の中で過ごせることを願います。

○感染予防をしながら運動会等の行事がうれしかったです。いつもより学校に行く機会が減り先生方の顔と名前が覚えられなかったのが残念です。

→学校行事は児童の学校生活に潤いと活力をもたらすので、できるだけ可能な形で行うよう努力してまいりました。しかしながら、感染のリスクが高いものは実施できないこともありました。本当はもっと子供たちの姿を保護者の皆様に見ていただきたかったというのが本音でございます。水泳や学芸会などそれぞれの得意な場面で活躍したくてもできなかったというお子さんには気の毒でしたが、感染予防の対策が取れるようになればもっと多くの行事が可能になってくると考えます。

- ・今年はコロナで色々なことが中止となりましたが、これからはコロナだからこそ、学年別やクラスご

となどの少数活動があってもいいかもしれません。

→学年別やクラスごとの学習は実施できるのですが、一つの空間に児童と保護者が一緒にいると教室では密になってしまい感染のリスクが増大するのでできません。

・地域とのつながりがある教育活動を増やしてほしいです。

→地域とのつながりを大切にした教育活動（煙雲館さん、八幡神社さん、羽田神社さん、松岩寺さん、松岩郵便局、駐在所、公民館などの地域の名所や公所をはじめ、昭和堰見学や長の森への植樹、気仙沼魚市場見学、唐桑・舞根「森・里・海研究所」訪問、ワカメの種付け・刈り取り、クラブ活動では水梨地区に伝わる「鳥舞」など）を行っております。必要なものは増やそうと考えておりますが、授業時間が限られているので検討が必要です。

・行事の変更を早めに知りたいです。

→ご指摘ありがとうございます。翌々月の保護者の皆さんの参加が必要な行事についてはお伝えできるようにします。

＜参観日の実施について＞…3点まとめて

・小学校生活最後の授業参観を実施してほしいです。

・参観日を少人数に分けてやってほしいです。

・参観日がなくなり、子供の話から学校生活が見えています。来年度は学期1回くらいの参観日をお願いします。

→今年度は「密」を避けることが難しいことと、保護者の皆さんの体温チェック体制が取れないことで参観日を1度しか実施できませんでしたが、6年生は「小学校最後」ということで検討させていただきます。

・6年生の内湾での校外学習が飲食を伴うので心配です。

→「飲食を伴う」ことでの感染のリスクは、「長時間対面で会話しながら行う」ことで高まります。この点については事前に指導してそのような状況にならないように対応致しました。

・持久走大会を中止にした理由、知らせる時期に全く納得出来ませんでした。

→今年度は判断しなければならないことがたくさんあり、職員による話合いの時間も十分に取れなかったことや他県を含め多くの学校の状況を調べ検討したため結果としてお知らせが遅くなりましたことはお詫び致します。来年度は以前お知らせした内容の通り実施致しないということに決定いたします。

・ドッチビー大会を実施する意図が分かりません。

→地区PTA行事のことでしょうか？学校行事ではないのでお答えは控えさせていただきます。

・コロナ禍で、いろいろ制限があり大変だとは思いますが、学校での子どもたちの様子を見る機会をもう少し作って欲しかったです。

→子供たちの活動を保護者の皆様にご覧いただくことで問題となるのが、子供たちの数だけでも教室は「密」の手前なので、保護者の皆様と同じ場所に参加されると「密」の状態になります。また、子供の場合は体温チェックはカードによって行っておりますが、保護者の皆さんが校舎に入る場合の体温チェックが難しいという問題があり、簡単には行えません。

・今年はコロナによる影響が大きく、休校や行事がほとんど行えない状況で、学習面、精神面、体力面がどれをとっても子供が大変な影響を受けているのではないかと危惧しています。（仕方ないことですが）行事は、隣の面瀬小がほとんど行っているのに対し松岩小は、ほとんど中止されており、気仙沼市内での同じコロナ下での対応が各小学校により大幅に違うことに疑問を感じます。

→新型コロナウイルス感染症の対応のため教育活動は大きな影響を受けました。学校行事の中止については私が市立学校長会会長でもありますので、他校との情報共有を十分に行った上で、「安全第一」という視点で判断しており、松岩小学校だけが他校と大きく違う判断だったとは考えておらず、妥当な判断であったと考えております。むしろ松岩小学校は市内の小学校の中で一番児童数が多く、他の学校に比べて多くの制約がありますのでその状況についてご理解ください。

・遠足や野外活動の写真がほしいです。

→検討します。

・運動会の靴下は白で統一する必要があるのか話し合ってください。

→職員間での検討が不十分でした。不適切だったと反省しております。来年度は統一しません。

・＜その他＞

＜学校の対応について＞…まとめて4点

○コロナ禍の中、色々な対応をしてくださりありがとうございました。兄弟そろって、学校の出来事をたくさん話してくれました。また、担任の先生が大好きなようで、いつも楽しく話を聞かせてもらい、今年度は、こども達の話から学校生活の様子がよく分かることができました。

○お世話様です。コロナなどで大変だと思います。よろしく申し上げます。

○中学生とのトラブルに対しては迅速に小中学校が連携して対応して頂き、感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

○先生方にはよくしていただき、おかげさまで伸び伸び育っています。

→お褒めのお言葉ありがとうございます。今後も子供たちが安心して通える学校であるため努力してまいります。

- ・学校から配布されるおたよりが分かりづらいです。友人の母親同士で確認し合う必要があり大変です。
- どのおたよりなのかお示しいただきたいと思います。それとも全てなのでしょうか？お示しいただければ具体的な改善を行ってまいります。今後も分かりやすいおたよりをお届けできるよう努力致します。
- ・いつも御世話になっております。昨年上の子を入学させてから感じていることなのですが、小学校のお便り、もう少し頻度やボリュームを減らして頂けないでしょうか。親も働いており、書面に全て目を通すことが負担なこともあります。大事なこと（予定変更、行事、帰りの時間、準備物など）だけ書いてある方がメリハリがあって見やすいなあと思います。長文などのお便りだと重要な連絡事項を見逃してしまう気がしてかえって不安になるのです。他のご家庭では必要なものかもしれませんが、幸い娘は学校での話をよく聞かせてくれるので、先生の負担を減らすためにもご検討いただけたら幸いです。
- 文書の分量については適切に考えて作成しているつもりです。また、学校だよりの校長の挨拶については緊急を要することはありませんが、月一回程度学校運営についての方針を書いておりますので短いと趣旨が伝わりにくいのであるようなボリュームになっております。他の文書については、要点をゴシック体やアンダーラインを付けるなど、短時間で要点が分かるように工夫してまいります。
- ・おたよりの写真が何を載せているか分からないので改善してほしいです。
- 学年だより・学級だよりの写真は白黒で、しかも大人数を小さなスペースに入れるので分かりづらいことが多く申し訳ありません。少人数に限定すると様子は分かりますが限られた子供しか写りません。今後は兼ね合いを調整しながら分かりやすい写真を取り入れてまいります。
- ・学年が上がるにつれ、連帯責任という言葉が度々言われているようです。もちろん必要な事だと思いますが、きちんとやっている子達やリーダー任せではなく、先生も参加して解決して欲しいと思います。
- 連帯責任という言葉は時代にそぐわないものになりつつあります。注意して指導に当たります。
- ・このアンケートは、上の子と下の子では評価が違うので答えづらいです。
- 今後は複数お子さんがおいでの場合にも対応できるような形式を工夫してまいります。